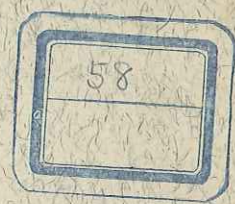


敬学会賞第十九回入選作品

NOTE BOOK

RECORDING FOR VALUABLE DAYS OF ALL



四年一組

長江雄記

CONTAINING BEST RULED FOOLSCAP
MARUKYO'S <YÔ> NOTE



TOKYO

丸久陽A40

米の一生

目次

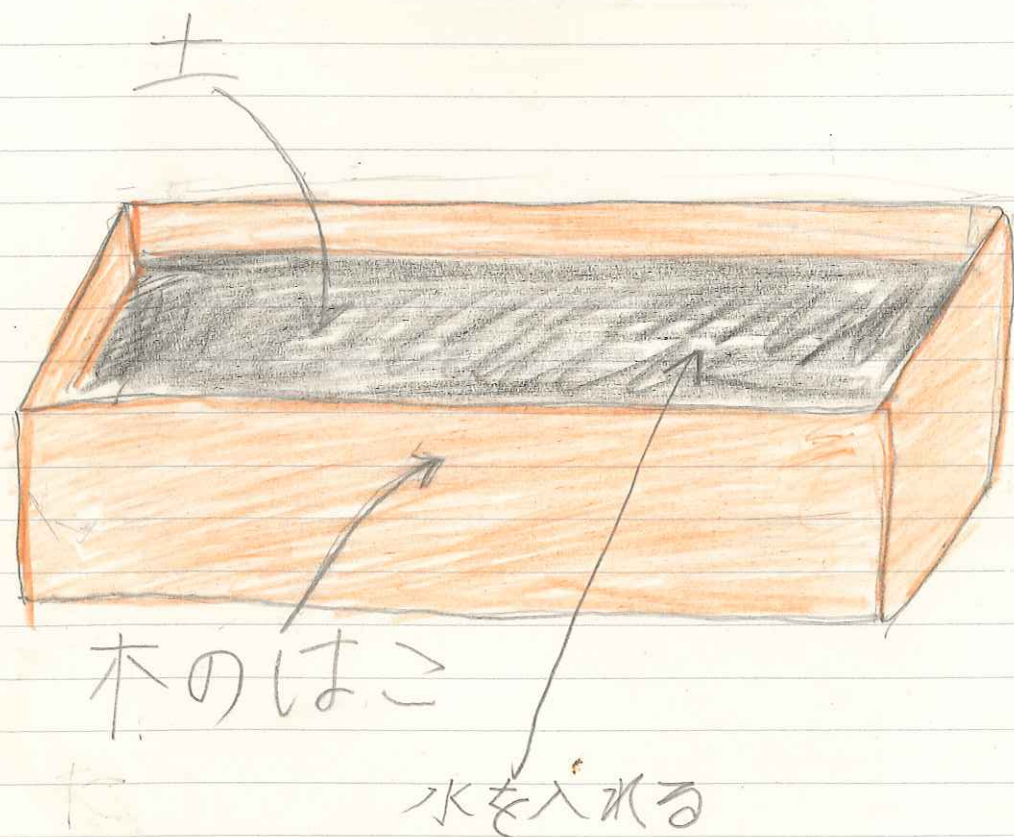
1 研究したわけ	1
2 しらべたこと	2
3 まとめとかんそう	35
4 さんこうしょとせわになった人	37
5 はんせい	37

もくでき

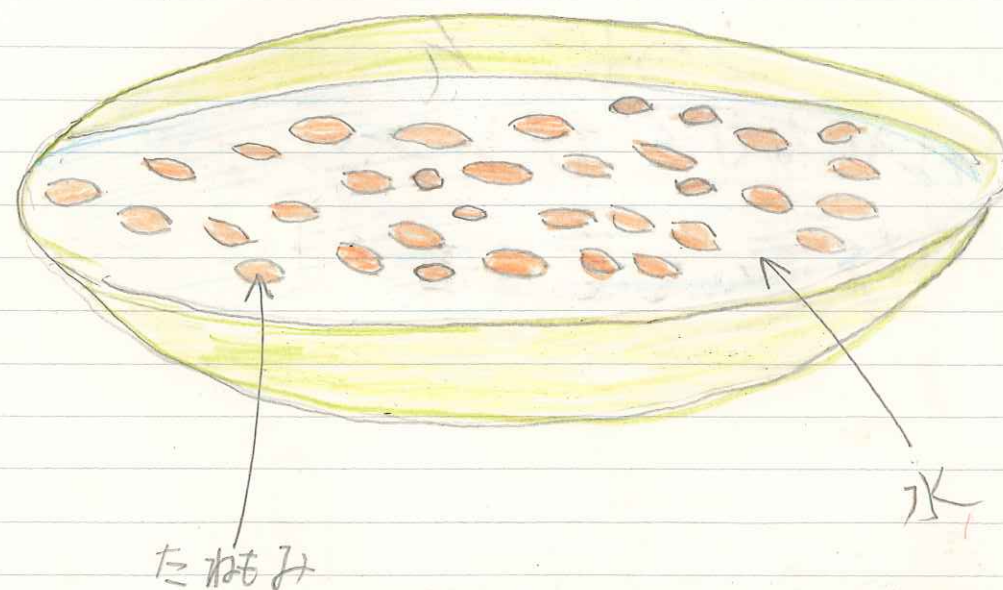
いつも私たちが食べている
お米はどうしてできるのか
どうして花がさいたり実がなるのか
言わべたいので米の研究をしました

4月 29日 (木)

木のはこ(よこ 80cm たて 40cm
たかさ 30cm)に 畑の土をフルイ
でふるって はこの8分目まで
入れた さらに その土に
木はいとかがく ひりょうをまぜて
小さいなわしろを作った



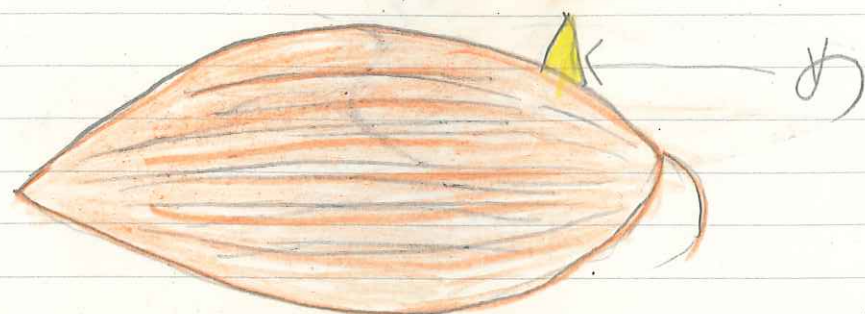
たねもみをそうづきの人から
もらって 水にひたす



毎日 朝と夕方にぬるま湯を入水
がえ、昼の間は日光あたる戸所におく

5月5日(水)

もみの横の白い所からちよびり
めがでてきました。



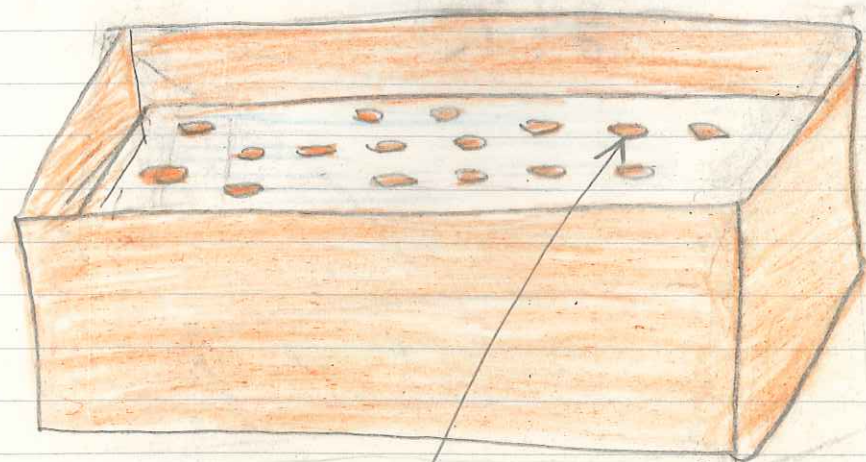
5月7日

きょうはめが 5mm くらい
のびました



5月8日

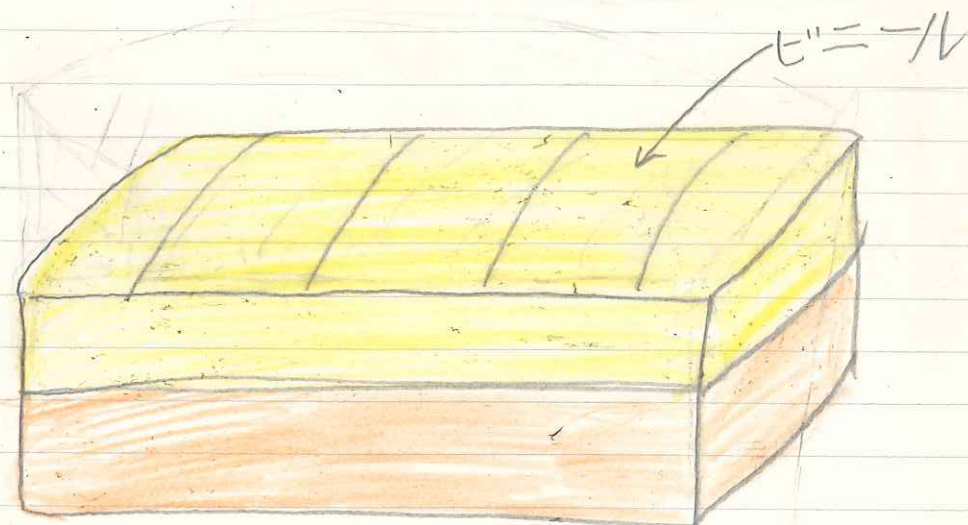
めの少し出た たねもみを、なわしろに
まき、たねもみがひたるていど水を入
れた。(午前 7時30分)



たねもみ

5月9日

けさなわしろを見たら
きのうまいた たねもみが"すす"めに
食べられたので"もうーと"
たねをまいて その上にビニ
ールをかぶせました

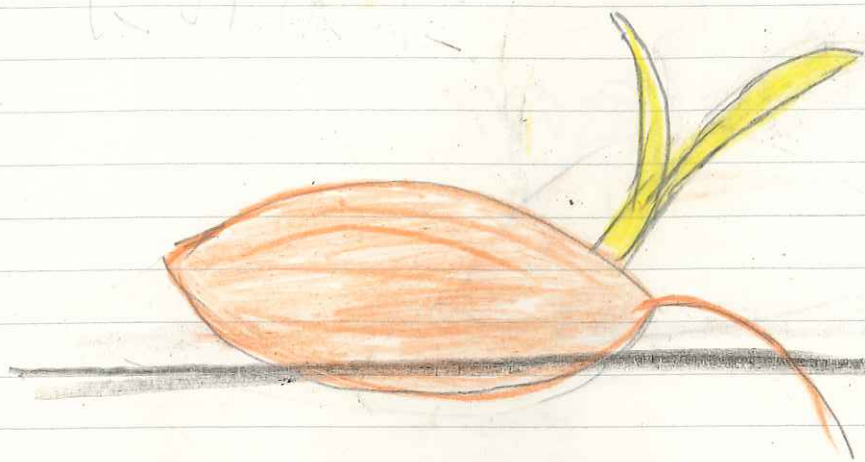


ビニール

ビニールでおおうとはこの 中の温度
が高くなり めのせい長が早いという
ことです。

5月12日

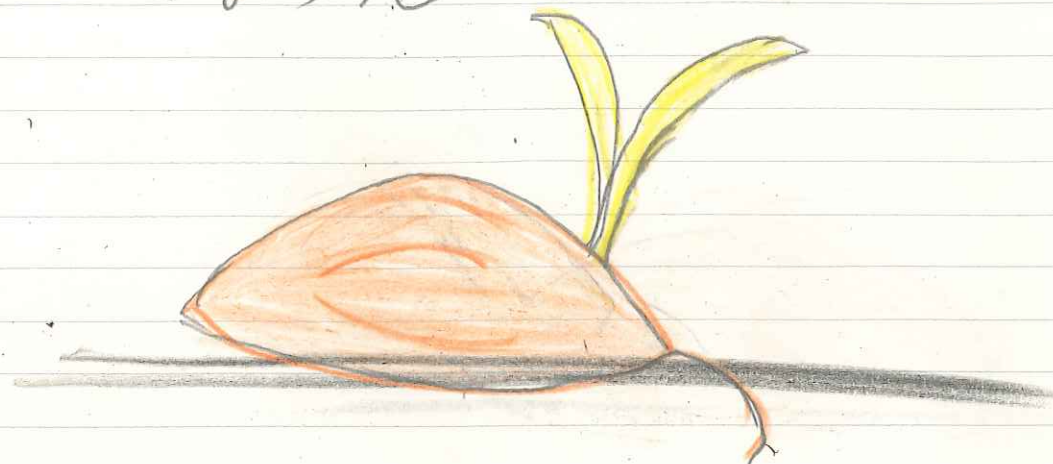
きょう見たら2cmのびました。
にのびた



めが1.5cmくらいにのびた葉になった

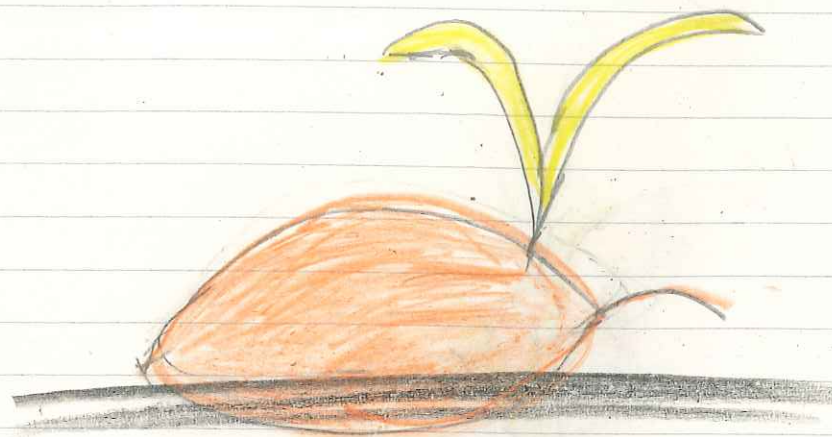
5月13日

きょう見たら2cmのびました。



5月16日

めが2.5cmぐらいにのびた



めが2.5cmぐらいにのびた

5月18日

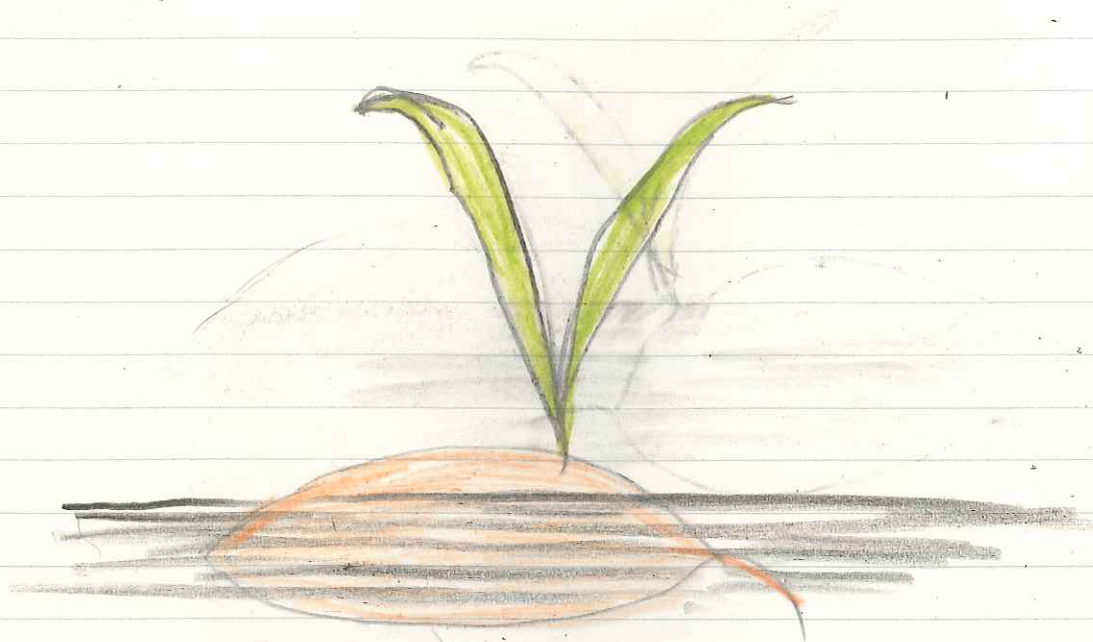
めが3cmぐらいにのびた



めが3cmぐらいにのび緑色になり
葉らしくなってきた

5月20日

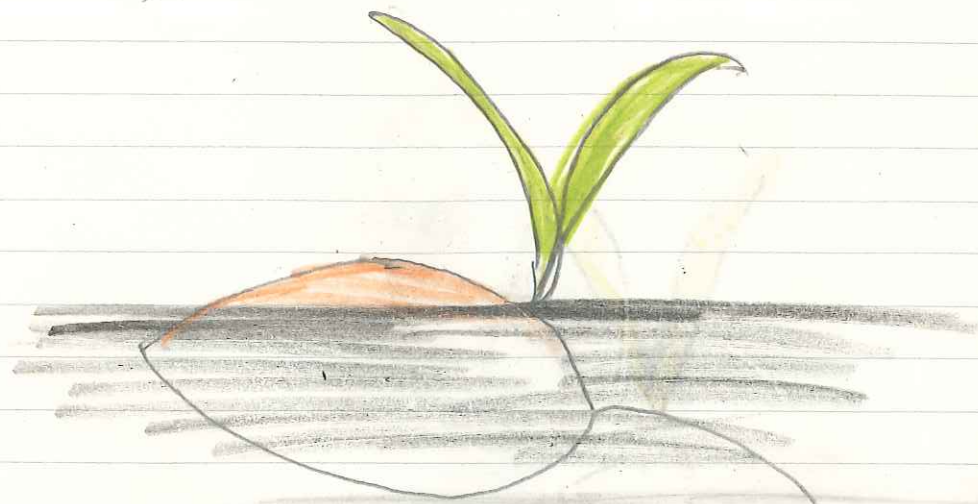
葉が5cmぐらいのびました



たねもみが土の中にはいった

5月23日

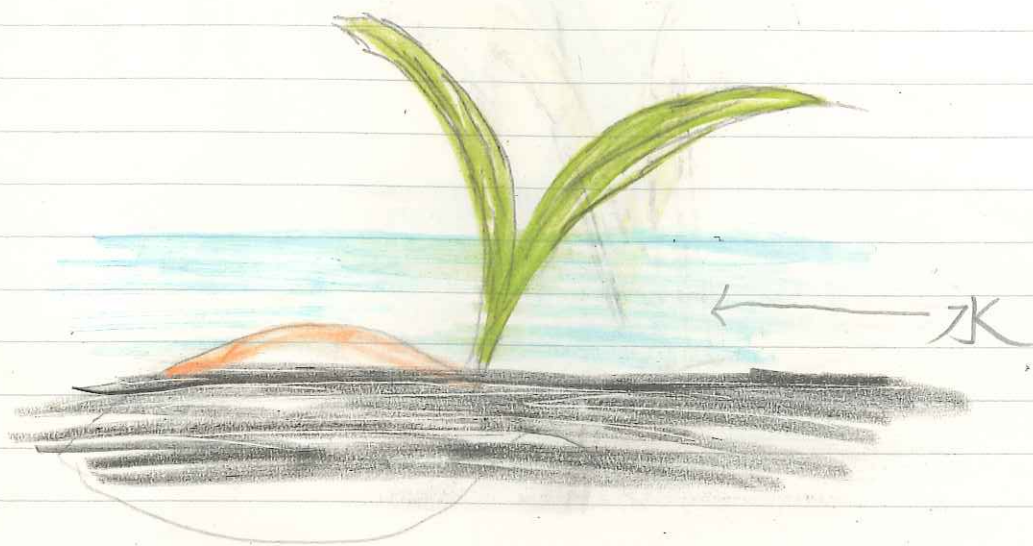
葉が7cmぐらいのびました



葉の色がすっかり緑色になった

5月24日

葉が8cmぐらいのひた



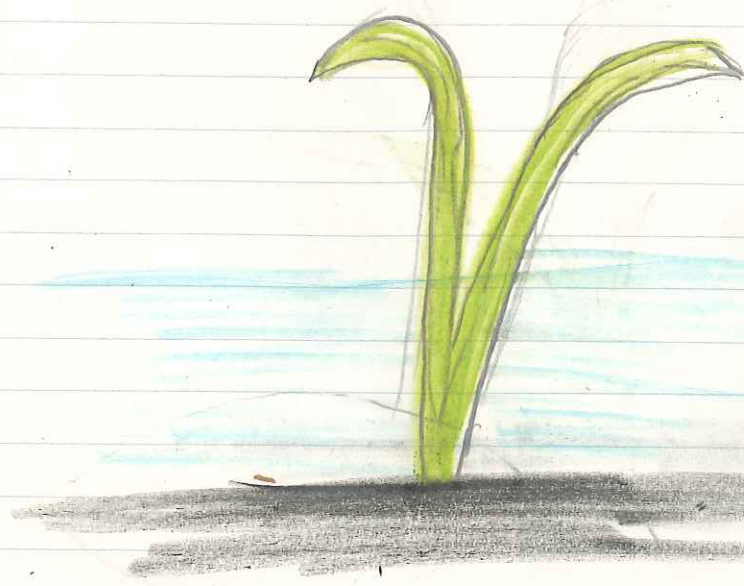
すっかり葉がなくなった

水を葉のなかば"ごろまで"入れた

(夜の間の温度を下げないようにするためです)

5月26日

10cmぐらいのひきました



ビニールのおおいをとりのぞいた。

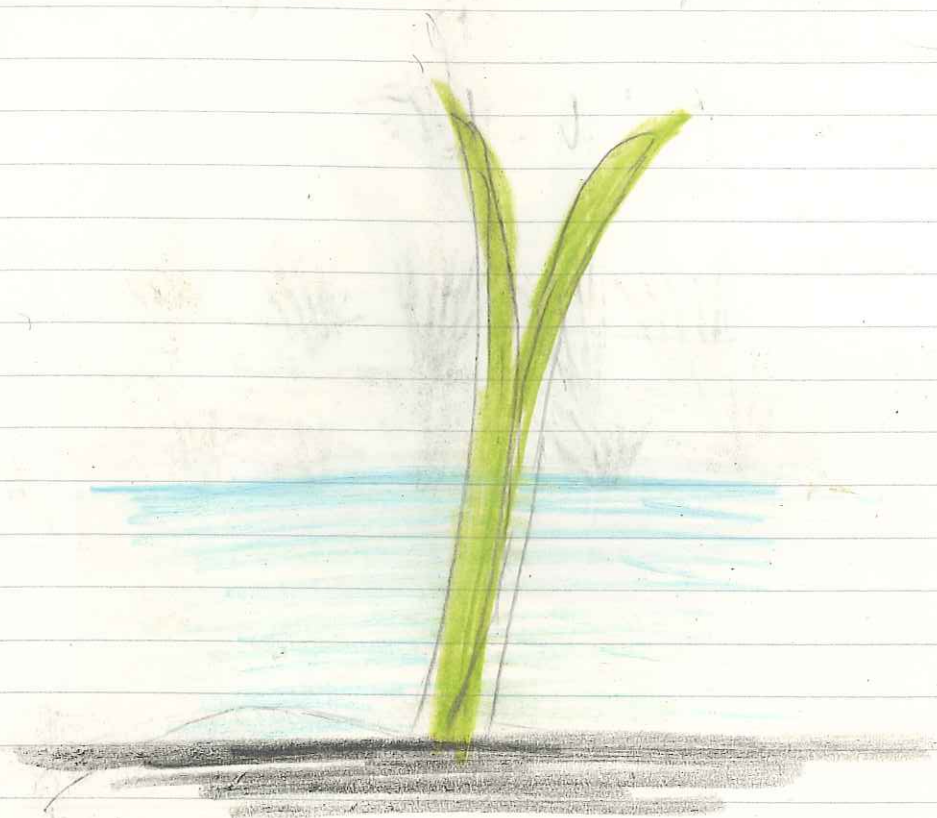
なえをじょうぶにそだてるためです。

木はいを少しまいた。

(くきや根を強く育てるひりょうです)

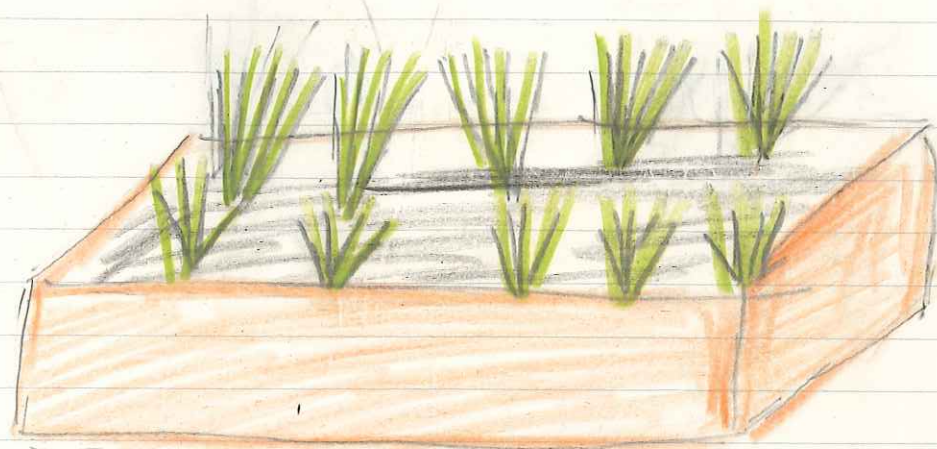
5月31日

めが 15cm ぐらいのひきました



6月6日

20cm ぐらいのひたので田うえ
をした。5〜6本ぐらいずつうえた。
14かぶうえた



たんぼはなわしろに使った
はこをそのまま使った
ひりょうとして かかくひりょう(ちっ
そ、りんさん、かりの入ったもの)を入れ土
とよくまぜた

(植物が成長するためにはこの三つのひりょうかひりょうた
ということです)

6月8日

23cmぐらいのひた

6月9日

24cmぐらいのひた

6月11日

25cmぐらいのひた

6月15日

28cmぐらいのひた

6月17日

29cmぐらいのひた

6月22日

30cmぐらいのひた

第一回目の草をし手で土をよく
かきませた

6月27日

310cmぐらいのひた

7月4日

330cmぐらいのひた

7月12日

350cmぐらいのひた

がかくひりょうくれた

7月23日

37.5cmぐらいのひた

7月24日

386cmぐらいのひた

7月30

400cmぐらいのひた

二回目のじゃ草をした。

8月1日

43cmぐらいのひた

8月3日

48cmぐらいのひた

8月5日

50cmぐらいのひた

8月8日

56cmぐらいのひた。1かふの
葉は30枚 ぐきは10本と12本ぐらいに
分けつした

8月9日

58cmぐらいのひた

8月10日

61cmぐらいのひた

8月11日

63cmぐらいのひた

8月12日

67cmぐらいのひた

ガガクニリょうをくみた

8月15日

70cmぐらいのひた

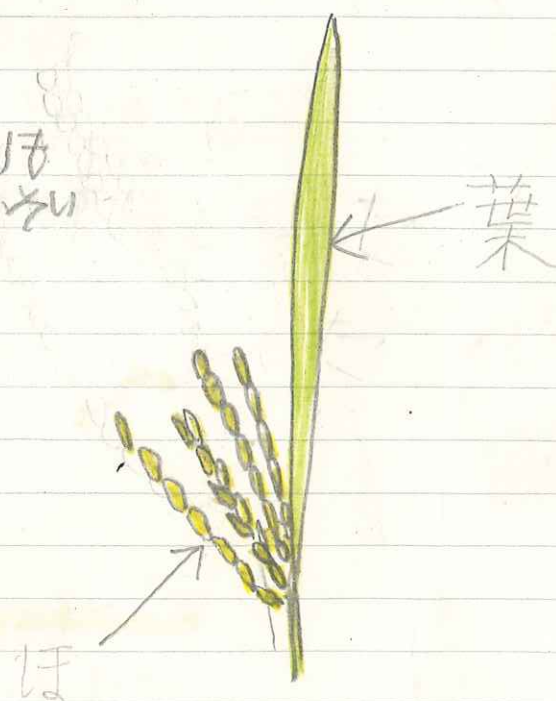
8月21日

いねのほか^{'''}出てきた

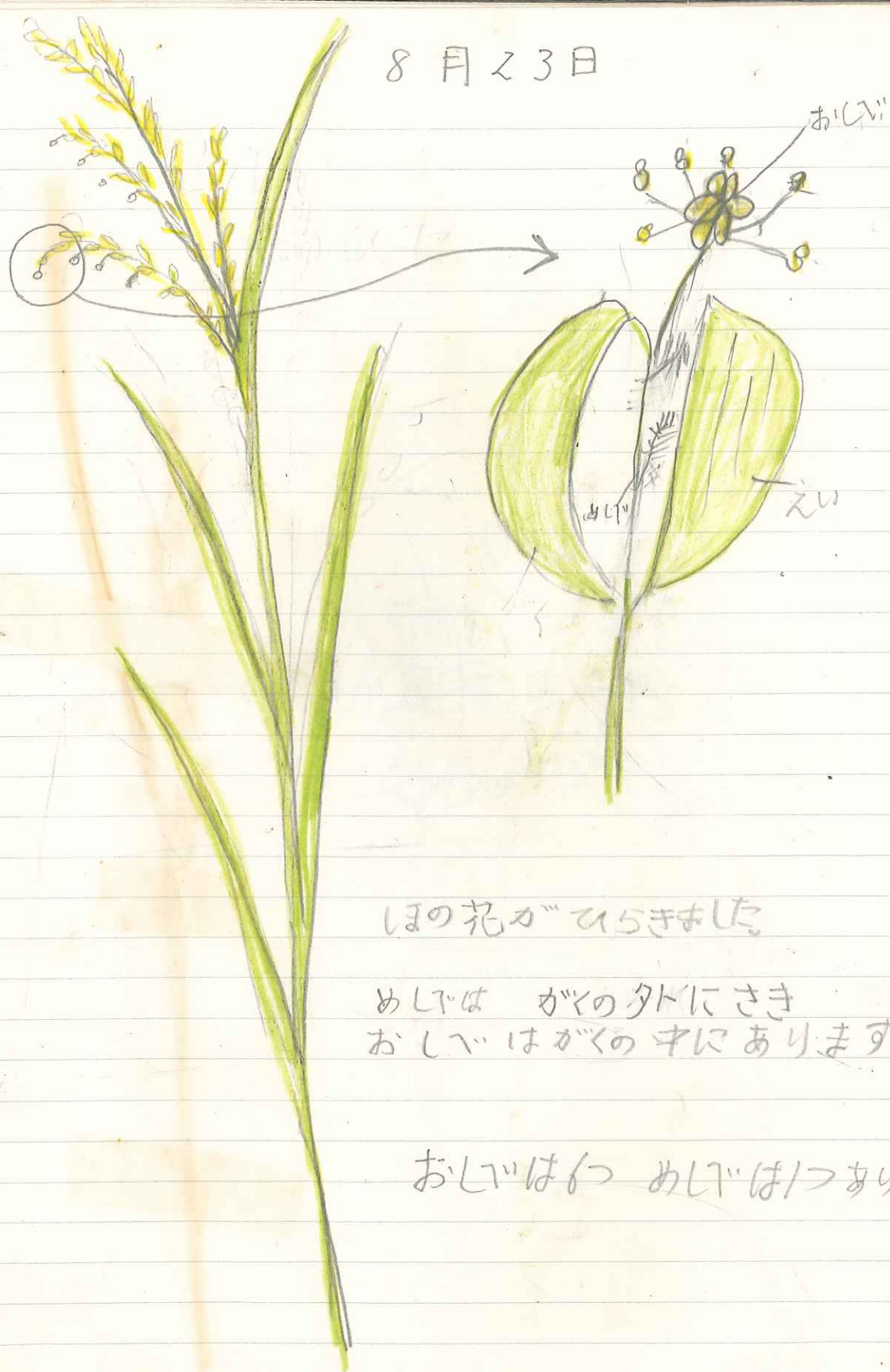
小さくて白い花です 穂の先の方からでてる

1本^{'''}にほか^{'''}4つぐらいです

ふいつうのいねよりも
ほが出るのが少しおそろい
そうです



8月23日



ほの花がひらきました

めしべは 花の外にさき
おしべは 花の中にあります

おしべは1つ めしべは1つあります



8月26日

くきたけ 80cm ほかにあるた



1本のほに10~15のえだ"ほか"あり 1本のえだ"ほ"には
10~15のちみづ"か"ついている

9月1日

くきたけ 85cm いのちた

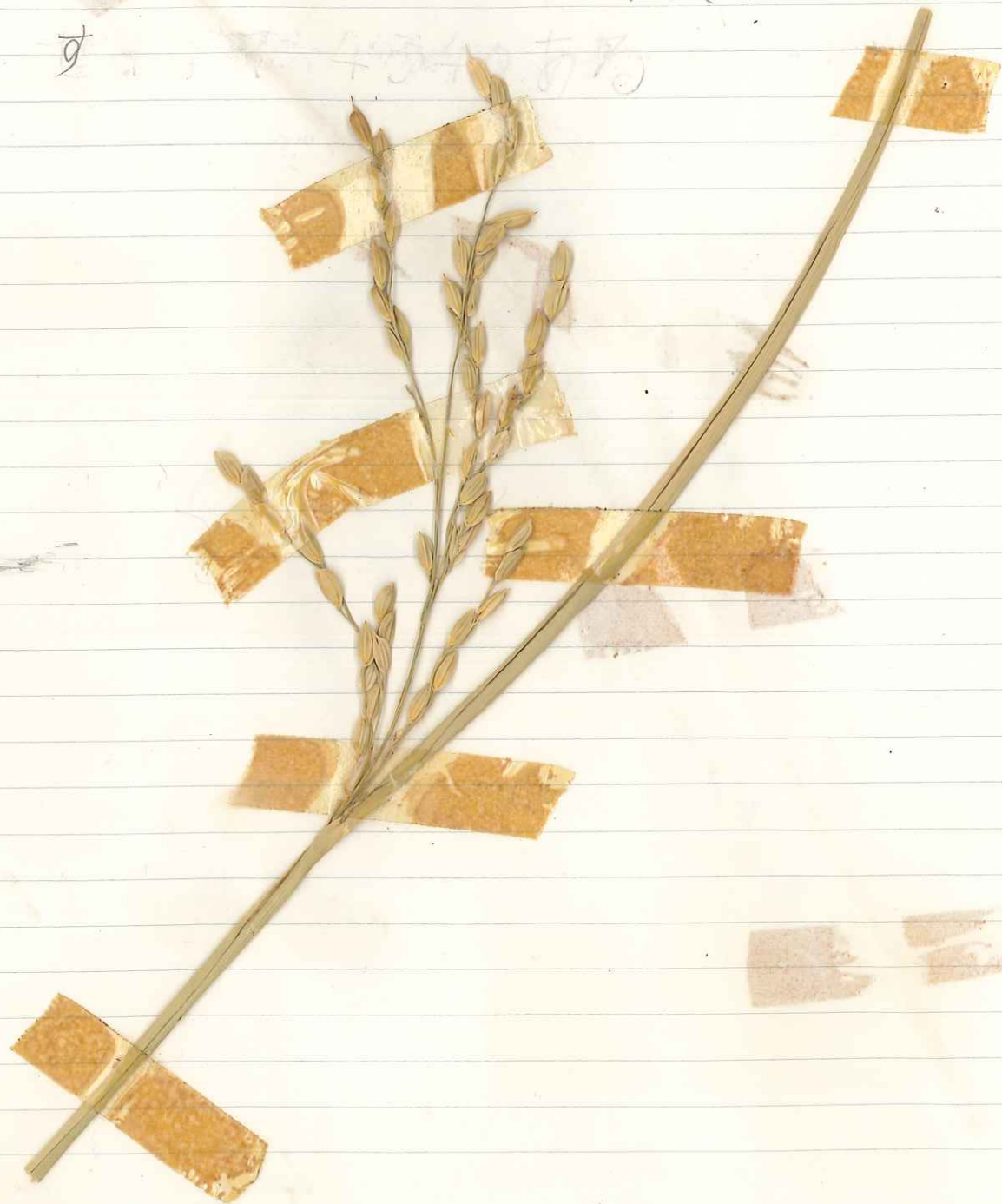
成長 じゅんちょう

かかく ひりょうをやる



9月15日

ほがややた水さがる
 もみをさねるとややかたく実がはいったよう
 です



9月23日

葉がやや黄色くなってきた
 実もかたくほがた水さがってきた

田の水をおとす (いねがそれほど水分を
 ぬくようにしないからということです)

10月3日

いねかり

すかり葉もほも黄色⁽¹⁵⁾なたのでかまていねを
かりとった。7かぶて11本のいなたは¹を作った
1かぶは25~30本でした

1本のほにはもみが70~100こついていた。

かりとった⁷²¹⁵いねはよくかわくように日のあたる戸外
に ほした



10月25

いねもすかりかんそうしたのでだっくしたいとおもうが
 まがいがないのでちかいうちにこのかの人にとのんで
 やってもらいたいとおもってあずかめいねを手で
 もんでとりそのもみをぬののくろをいれて手でもん
 だりたたいたりしてだっくした。でまたこめはわたく
 たちが食っている米よりも黒くこれをげん米と
 いう。げん米を機かい(せい米機)にかけて白くした
 ものが白米でこれが私たちが毎日食っている米で
 す。

巨くなっておりはという にからめがでる



まとめとかんそう

- (1) たねもみをまいてから米ができ上るまで多くの人の
 手や機かいがひつようであつた家の人のくろうや
 米をそまつにいはならないことをした
- (2) 米ができ上るまでの期間は長く半年以上かかり
 しかもその間天気のだいいなこともした。
 田うえをした月ころはそうとうの水がひつようであ
 りこのころ雨がふらないといねはか氷てはう。7月
 8月 9月はあつたいはうの光がひつようであ
 その間雨の日がうつくとい米が出ない。(水いがい
 という。) またかりとたあともいねをかんそうさせる
 ためにはよい天気かひつようです
- (3) いねをよく成長させるためにはひりょうや
 しょうどくもたいせつです。しょうどくはけきやく
 ため使用できませんでしたがひりょうの方は

かがくひよりをつかいました。このひりょうには
植物を育てるのに ちつような ちっそ、りんさん、
かりの三つがいておりこの三つのひりょうが
ないとよく育ちません。ちっそはいねを大にする
役目をし、りんさんはうまい実を作る役目をし、かり
は根やくきをいようがにする役目をするということです。

(4)

げんまいの表面にはビタミンABやほうがくまれている
のであまり白くせい米するとそれらのえいようがなくなるので
あまり白くない方がいいといわれています。

(5) いねはクワホン科にぞくし、もとはインド方面のね
だった地方に野生していたものを水田でさいばい
するようになったということです。1年生草本(1年の間に
たねをまき、花がさき、実がなると終わる植物)
です。実をとったあとのわらもぞうりやなわやむしなど
いろいろに使われます。

さんこうのために見た本

絵本百科じてん

しくもつずかん

おせわになった人

おとうさん

おかあさん

はんせい

じゅんびが不十分のため たねまきが おくれた
小さなはこのたんぼなので、すぐに水がかかれてしまった
たんぼのかんりを おこったこともあったか、いけなないと思っ
て、こいどきるときは、もっときそてきなでんきょうを、しかりやり
たいと思います。